編 集 後 記

2009年5月に先代の編集委員長　故　中野今治先生より編集委員を拝命して以来，現　鈴木則宏委員長のもと，もうすぐ6年になろうとしています．ご承知の様に，臨床神経学は55年に及ぶ歴史と伝統を踏まえた上で，55巻から新しく電子ジャーナルに生まれ変わりました．本誌が会員の皆様にとって有益な情報源となるよう，引き続き努力したいと考えています．

2015年1月20日の時点で，2014年度の臨床神経学への新規投稿数は114編であり，前年度に比べて22編少ない状況でした（残念ながら，原著，症例報告，短報ともに投稿数が減っています）．地方会推薦論文として，174件の依頼を行ったところ，承諾66件（うち投稿は9件），辞退14件（他誌に投稿するため），無回答94件という結果でした．論文の採択率は60％であり，前年度の76％に比べると，査読がやや厳しくなっていることが伺えます．しかし，学会誌として良質な論文を世に出すための査読の結果であり，厳しい中にも教育的な査読が行われています．日常の診療などでお忙しいことと思いますが，積極的に投稿して頂きたいと思います．

「鉄は熱いうちに打て」という諺があります．若い先生には，地方会などで発表した症例について，ぜひとも脂の乗り切っている時期に文字にしてみてください．学会が終わって時間が経つと，あったはずの知識も減って行き，次第に論文を書こうとする意欲も失せてくるものです．

「症例報告」を書くことにはどのような意義があるのでしょうか．症例について病態や治療を詳しく調べて記載することにより，自らの勉強になり記憶に鮮明に留めることができるだけではなく，自らの体験を多くの医師に伝えることができます．一人の医師が貴重な症例（とても珍しい症例など）を何例も体験することはなかなかできませんが，「症例報告」により著者と同じ経験をすることができます．「症例報告」を書くことは，臨床医としての一つの義務だと思います．ぜひとも臨床神経学への投稿をお待ちしています．

（瀧山嘉久）

〈編　集　委　員〉

編集委員長　鈴木　則宏　　編集副委員長　河村　満

編集委員　荒木　信夫　　飯塚　高浩　　池田　昭夫　　亀井　聡

瀧山　嘉久　　西野　一三　　野村　恭一　　星野　晴彦

編集委員（幹事兼任）　園生　雅弘　　髙尾　昌樹　　森　秀生

「臨 床 神 経 学」　第55巻　第5号　　平成27年5月1日発行

編　集　者　東京都文京区湯島二丁目31番21号　一丸ビル　　一般社団法人日本神経学会

発　行　者　東京都文京区湯島二丁目31番21号　一丸ビル　　髙　橋　良　輔

印　刷　所　〔郵便番号602-8048〕京都市上京区下立売通小川東入　　中西印刷株式会社

発　行　所　〔郵便番号113-0034〕東京都文京区湯島二丁目31番21号　一丸ビル

日　本　神　経　学　会

郵便振替口座　東京00120-0-12550

TEL. 03-3815-1080　FAX. 03-3815-1931

ホームページアドレス：http://www.neurology-jp.org/